

## 晩生イタリアンライグラス「ムサシ」の特性

イタリアンライグラスは、収量が多く、嗜好性も高い秋播種の冬作飼料作物として栽培されているが、多様な特性を持った数多くの品種が市販されており、作付品種の選定を行う判断材料が求められている。

そこで、市販品種のうち有望度の高い品種について本県における諸特性を明らかにし、優良品種の選定を行い、新たに「ムサシ」を奨励品種に選定したので紹介する。

### 【ムサシの特性】

- 1 出穂始めは中晩生品種「ヒタチヒカリ」より10日程度、晩生品種「アキアオバ」と同程度か数日程度遅い。
- 2 「ヒタチヒカリ」、「アキアオバ」より斑点病抵抗性はやや劣るが、その他病気への抵抗性は「ヒタチヒカリ」、「アキアオバ」と同様に優れる。
- 3 草丈は「ヒタチヒカリ」、「アキアオバ」よりやや低い。
- 4 乾物収量は、「ヒタチヒカリ」、「アキアオバ」より多収である。
- 5 多葉重型で、再生にも優れる。

表1 【生育特性】

試験年度	品種名	播種日 月/日	発芽期 月/日	発芽良否 1~9	定着時草勢 1~9	越冬性 1~9	早春草勢 1~9	出穂始 年内 月/日	翌年 月/日
H15	ヒタチヒカリ	9/19	9/24	9.0	9.0	9.0	9.0	-	4/9
	ムサシ	9/19	9/24	9.0	8.7	9.0	9.0	-	4/20
	アキアオバ	9/19	9/24	9.0	9.0	9.0	9.0	-	4/20
H16	ヒタチヒカリ	9/16	9/18	6.3	3.0	8.0	8.0	-	4/12
	ムサシ	9/16	9/18	7.3	4.7	8.0	5.7	-	-
	アキアオバ	9/16	9/18	7.3	4.0	9.0	6.7	-	4/19

注：発芽良否、定着時草勢、越冬性、早春草勢は、1(極不良)~9(極良)

表2 【収穫特性】

試験年度	品種名	収穫日 月/日	出穂程度 1~9	病害 1~9	倒伏程度 1~9	草丈 cm	生草収量 kg/a	乾物収量 kg/a	乾物率 %
H15	ヒタチヒカリ	12/12、4/30、6/9	6.2	2.0	3.0	111	1561(100)	251(100)	16.0
	ムサシ	12/12、5/11、6/15	5.6	2.7	4.2	111	1623(104)	275(110)	16.2
	アキアオバ	12/12、5/11、6/15	5.8	2.2	4.3	114	1602(103)	260(104)	15.7
H16	ヒタチヒカリ	4/19、5/16	7.7	1.0	3.0	114	1178(100)	169(100)	14.4
	ムサシ	4/19、5/16	3.5	1.0	1.8	108	1295(110)	182(107)	14.1
	アキアオバ	4/19、5/16	4.3	1.0	2.0	115	1356(115)	179(106)	13.3

注：1)出穂程度は1(極少)~9(極多)。病害、倒伏程度は1(無)~9(甚大)。

2)出穂程度、病害、倒伏程度、草丈、乾物率は2又は3回刈りの平均。各収量は合計。

3)病害は、斑点病の発生程度。その他病害発生無し。

4)()は各年度の「ヒタチヒカリ」に対する比数

(畜産試験場草地飼料担当)